

# 錫杖ヶ岳

## 1. 行程 (ランク B)

JR 高槻(7:15) = 草津(7:57, 8:02)=柘植(8:52, 9:11)=加太「150」(9:22、9:30 出発) →1.7K 登山口「240」(10:00)(5分) →0.9K 柚乃木峠「390」(10:35)(5分) →(5分)→1.1K 錫杖ヶ岳 676m(11:40-12:15 食事)→1.2K 三等三角点「575」(13:10)(5分) →0.6K Peak509 (14:00)(5分) →0.9K 矢印関電点検路合流「290」(14:40)→(5分)→0.8K 医王寺「180」(15:20) →3.2K 御厩の松(16:03) →0.6K JR 関「80」(16:15 到着、16:18 発) =JR 柘植=JR 草津=JR 高槻(18:27)

歩行距離 11.2Km 標高差 526m +  $\alpha$

参加者 6名

天候 曇り時々晴れ

## 2. 概要

草津と柘植間はローカル線だと思っていたが、柘植から加太(かぶと)駅間は関西本線なのでワンマンカーとは予想できなかった。運転手が支払いも担当し、イコカが使えないので5名が一人ずつ運転手に精算してもらうのに手間取った。(S女史は前もってこの件を調べていて、切符を購入されていた。さすが!) これで加太駅出発10分遅れ。30分舗装路を歩き、登山口に着く。すぐ手前に駐車スペースがあり、7, 8台の車が止まっていた。結構大勢の登山者がいる模様。錫杖ヶ岳まで約2kmで200m毎に1~10の標識が立っている。時にはその間の100mの標識もあって、○合目表示と違って自分がどこまで来たか正確に分かるので、登山者フレンドリーな表示だと思った。そのせいなのか子供連れにも何組か出会った。初めは川に沿った登山道で丸木橋か鉄板の橋を何本も渡った。表示4の先で柚乃木峠があり、ベンチがあってゆっくり休むことができた。ここで東向きの所々細尾根道の急登の山道が表示9まで続き、岩の前に着く。そこで一息入れて、山頂までは急な岩登りだ。風が強く寒いくらいだ。ストックをしまつて両手で登る。岩の質が滑りにくく、急勾配なのに恐怖感は少ない。ここを下るわけではないので下りはどうしようかと悩まなくてよかった。

山頂まで登ると視界が開け、360度のパノラマ。南には錫杖湖、東には伊勢湾、亀山付近の工場群などが、北には油日岳、那須ヶ原山、高畑山が見え、その奥には鈴鹿の山々が見えた。看板に錫杖ヶ岳の説明があり、江戸時代から昭和まで数度山で雨乞いをした記録があるそうだ。広くない頂上に先客が何組かいた。展望を楽しみながら昼食を取る。



12:15 下山に掛かる。小さく引き返し、錫杖湖側を下る。東屋の手前を左側に抜け東側の尾根道に入る。40mほど下り、それから大きく標高差 150mほどコル標高 475mまで急降下する。こちら側へ下る登山者は少ないようだ。誰にも遭わない。コル迄下ったところで右に折れて錫杖湖へ下る道が誘導してあったが、リーダー曰く「まっすぐ尾根を登る道は前回単独で通っており、コースさえ間違わなければ危険なところはない」と。標高差 100mを急登し、アップダウンを繰り返すとやっと三等三角点のある 574.3mの子雀の頭へ出た。この辺りは標識少なく、杉の植林の中、尾根筋を外さないように赤いテープをたどる。そこからも急な下りと少しの登りを繰り返して 509mのピークへ。後は下りばかりだが尾根を間違えないように、リーダーは記憶と GPS と赤やピンクのテープをたよりに急斜面を下る。筆者は疲れて足がつったり滑ったりしたりし、木の根につまづいて転倒した人もいたが、幸い斜面が落ち葉でふかふかだったので怪我はなかった。やっと下に林道が見えて、そこまで最後の急斜面を藪漕ぎした。舗装道路沿いの上方に石段と石灯籠が見えた所で犬を連れた人に出会い、医王寺を教わる。石段を登るとこじんまりした祠に本尊薬師如来とある。無事下山を感謝。そこから福德の集落を經由し、関駅まで 4 km 近くある。4時20分の電車まで一時間しかないので舗装路をひたすら駅に向かって歩く。駅に電車が到着してからホームに走り下りてやっと電車に乗ることができた。



### 3. 所感

山の縦走そのものは僅か 5.5Km程であるが、沢沿いの道、細尾根、急登、岩場、展望、急な下り、アップダウンの繰り返し、コース読み等とバラエティに富んだコースで、登りごたえ、いや、‘下りごたえのある’面白い 山であった。交通の便さえ良ければ何回でもトライしたい山である。リーダー連れて行って下さりありがとうございました。(Monte Azur 記)